



デデポッポ

Vol. 6

京都市動物園
野生鳥獣救護センター通信
平成21年 1月 6日発行

みなさん、寒い寒い冬の時期がやって来ましたが、いかがお過ごしですか？
ところで、テレビなどで『**絶滅危惧種**』という言葉を目にすることはありませんか？



これは、生息数が少なくなってきている種を環境省や各都道府県が選定しているものです。

今回は『**京都府の絶滅危惧種**』（2002年度調べ）について

知ってもらいたいと思います。絶滅危惧種には、哺乳類・鳥類だけでなく、植物や地層なども選定されていますが、救護センターでは哺乳類と鳥類を保護していますので、これらに焦点を合わせてみました。以下ようになります。



京都府レッドデータブック

絶滅寸前種 (絶滅に瀕している種)	キクガシラコウモリ・ツキノワグマ イヌワシ・オオハクチョウ・コノハズク など
絶滅危惧種 (絶滅の危険性が高い種)	ホンドモモンガ・ヤマネ オオタカ・オジロワシ・ハヤブサ・アオバト オオコノハズク・アカショウビン など
準絶滅危惧種 (存続基盤が脆弱な種)	ムササビ・ニホンカモシカ チョウゲンボウ・アオバズク・ササゴイ ノスリ・フクロウ・カッコウ・アカゲラ など

みなさんが知っている動物たちはいましたか？このように多くの動物たちが今、危険な状態にさらされています。この救護センター

通信をみて興味を持った方は是非調べてみてください。



僕たちは、絶滅危惧種に指定されているよ。
救護センターには、今、2羽のオオタカがいますが、上腕骨を骨折しているため、自然に帰ることができません。

